言語活動ワークシート　月　日〔　年　組　番　名前　〕

◆教科　言語文化　古文編　単元の言語活動6

◆人物の心情を想像して「木曽の最期」を脚本化する

課題　「木曽の最期」を脚本化し、演じてみよう。

1 担当するシーンと役割分担を決めよう。

①グループを作り、次のA～Cから一つずつ担当するシーンを決める。クラスの人数によっては一シーンを担当するグループが二つになってもよい。

シーンA「義仲と巴の別れ」
シーンB「義仲を励ます兼平」
シーンC「義仲と兼平の最期」

②義仲役・巴役・兼平役・ナレーション役・演出などの役割分担を決める。

2 「せりふ」と「ナレーション」を考え、脚本を作ろう。

①グループ全員で話し合い、登場人物の「せりふ」を考える。「木曽の最期」の会話文を参考にするが、登場人物のさまざまな心情を想像して、本文には書かれていない表現を補ってもよい。

②場面の説明など、「せりふ」だけでは伝わりにくい要素を補足説明する「ナレーション」を考える。

③「せりふ」と「ナレーション」を脚本にまとめ、読み合わせをする。不自然な「せりふ」や、伝わりにくい「ナレーション」の表現がないか確認する。

3 完成した脚本を基に演じてみよう。

①グループごとに脚本を輪読して、発表する。「せりふ」の担当者は、登場人物の心情を想像し、感情を込めて読む。

②ほかのグループの脚本のよかった点をあげる。

◆〈担当〉シーン：　　、役割：

																		人物

	人物

	人物

◆他のグループの脚本のよかった点